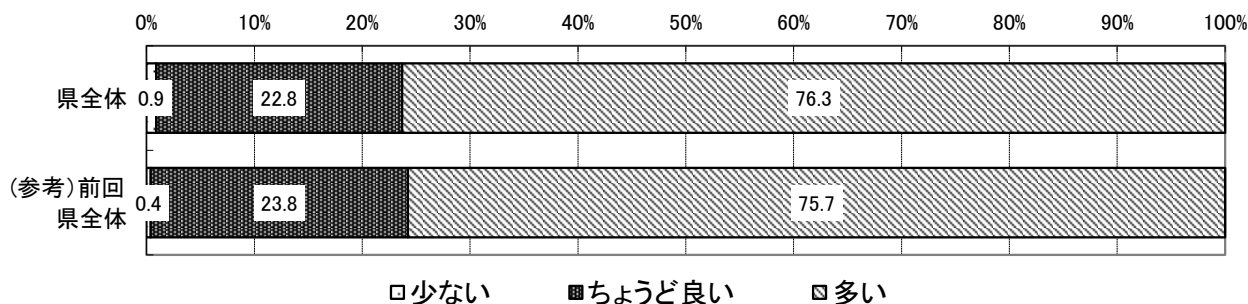


6 調査に対する評価の調査分析結果

この調査について回答者がどのように感じたか、設問の量などについて調査した。

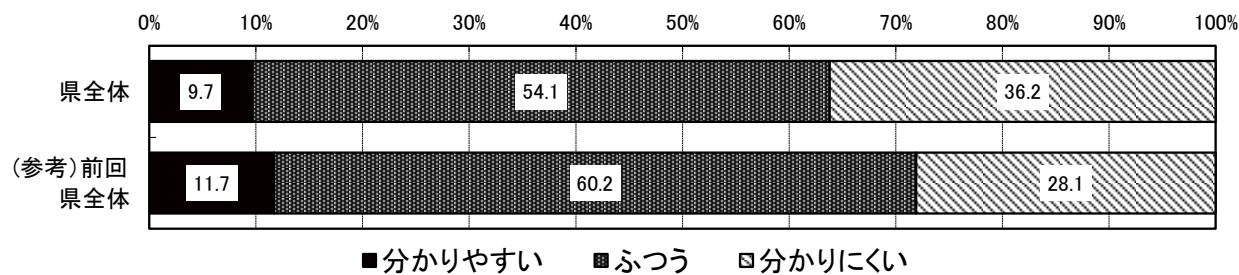
(1) 設問の量



■ 県全体

「ちょうど良い」が22.8%、「少ない」が0.9%に対し、「多い」は76.3%である。

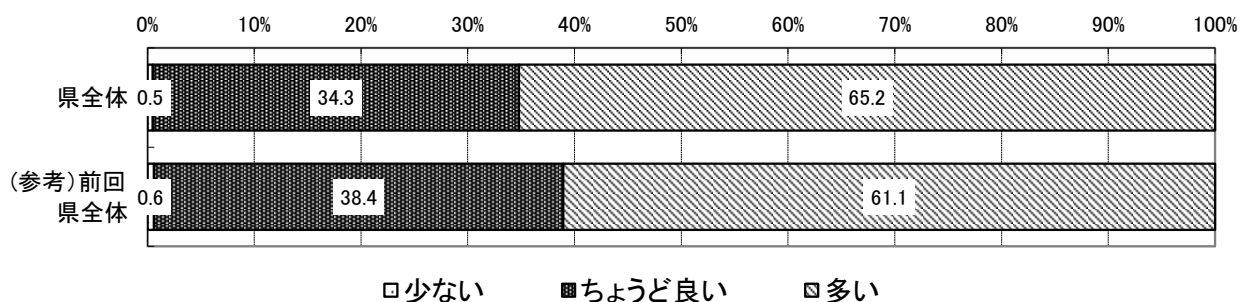
(2) 文章説明の分かりやすさ



■ 県全体

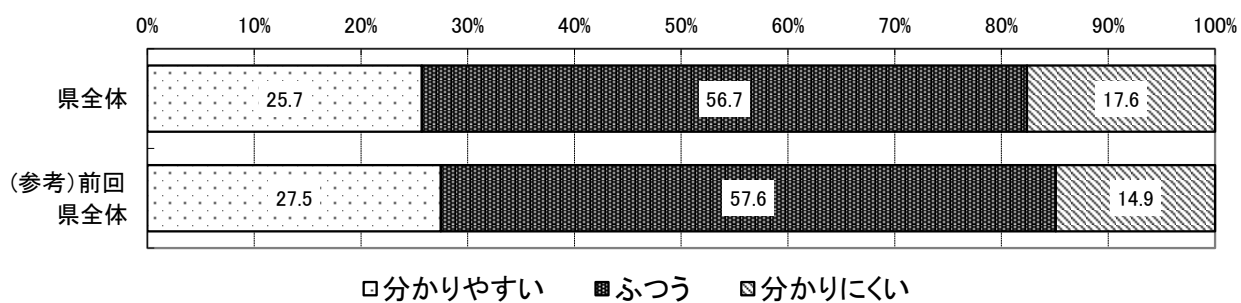
「分かりやすい」「ふつう」を足しあわせたものは63.8%であり、「分かりにくい」の36.2%を大きく上回った。

(3) 文字の量



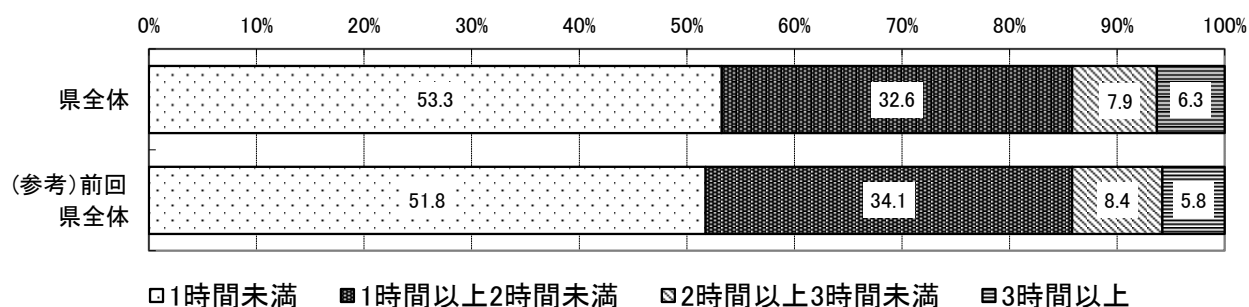
■ 県全体
 「ちょうど良い」が34.3%、「少ない」は0.5%に対し、「多い」は65.2%である。

(4) 記入方法の分かりやすさ



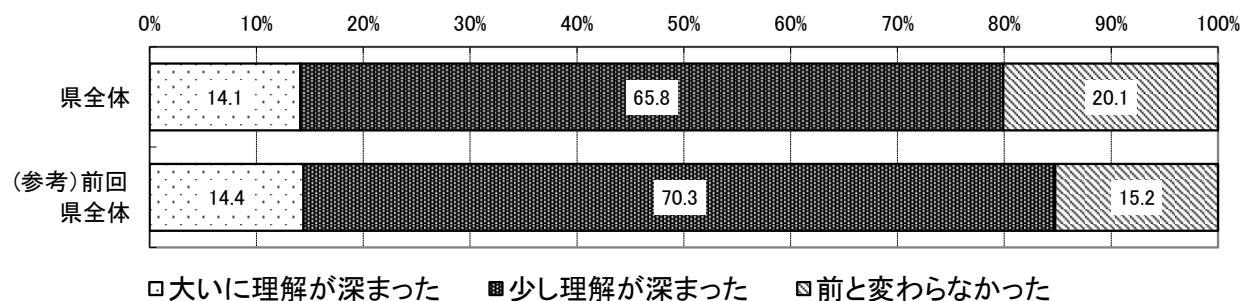
■ 県全体
 「分かりやすい」「ふつう」を足しあわせたものは82.4%を占め、「分かりにくい」の17.6%を大きく上回った。

(5) 回答に要した時間



■ 県全体
 回答に要した時間については、1時間未満が53.3%、1時間以上2時間未満が32.6%、2時間以上3時間未満が7.9%、3時間以上が6.3%であった。

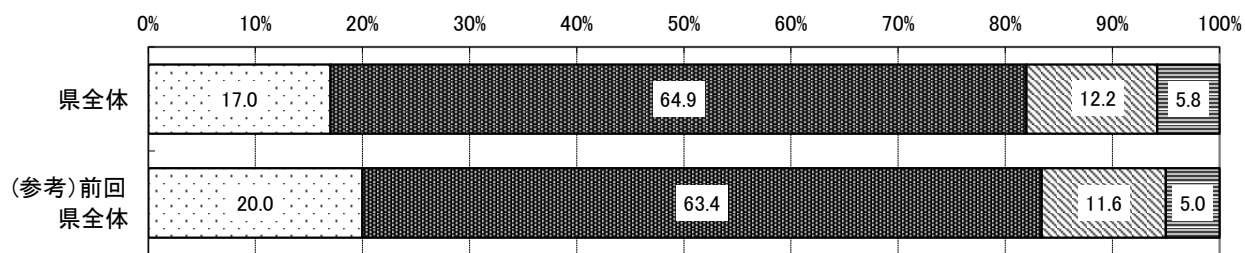
(6) 様々な取組についての理解の深まり



■ 県全体
 「大いに理解が深まった」14.1%、「少し理解が深まった」65.8%を足しあわせた『理解が深まった』が79.9%であり、「前と変わらなかった」の20.1%を大きく上回った。

※ 『理解が深まった』: 「大いに理解が深まった」+ 「少し理解が深まった」

(7) 県民の意見を県政に反映させる方法として適切か



□適切である ■どちらかといえば適切である ▨どちらかといえば適切ではない ▩適切ではない

■ 県全体

「適切である」17.0%、「どちらかといえば適切である」64.9%を足しあわせた『適切』は81.9%であり、「どちらかといえば適切ではない」12.2%、「適切ではない」5.8%を足しあわせた『不適切』18.0%を大きく上回った。

※『適切』:「適切である」+「どちらかといえば適切である」

※『不適切』:「どちらかといえば適切ではない」+「適切ではない」

7 県政全般についての自由意見

(1) 大分類

県政全般、震災の復興・復旧、新・宮城の将来ビジョンや調査方法等に対する意見・要望等の結果は次のとおりである。

分類項目	件数
1 県政に対する意見	241件
2 震災の復旧・復興に関する意見	35件
3 新・宮城の将来ビジョンに関する御意見	7件
4 調査に関する意見	80件
5 その他	62件
総意見数(回答者数 417名)	425件

※件数は複数回答扱い

(2) 小分類

(※大分類「震災の復旧・復興に関する意見」、「新・宮城の将来ビジョンに関する御意見」を細分化)

分類項目	件数
分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	8件
取組1 被災者の生活環境の確保	8件
取組2 廃棄物の適正処理	0件
取組3 持続可能な社会と環境保全の実現	0件
分野2 保健・医療・福祉	1件
取組1 安心できる地域医療の確保	0件
取組2 未来を担う子どもたちへの支援	0件
取組3 だれもが住みよい地域社会の構築	1件
分野3 経済・商工・観光・雇用	0件
取組1 ものづくり産業の復興	0件
取組2 商業・観光の再生	0件
取組3 雇用の維持・確保	0件
分野4 農業・林業・水産業	0件
取組1 魅力ある農業・農村の再興	0件
取組2 活力ある林業の再生	0件
取組3 新たな水産業の創造	0件
取組4 一次産業を牽引する食産業の振興	0件
分野5 公共土木施設	15件
取組1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	4件
取組2 海岸、河川などの県土保全	8件
取組3 上下水道などのライフラインの整備	0件
取組4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	3件
分野6 教育	0件
取組1 安全・安心な学校教育の確保	0件
取組2 家庭・地域の教育力の再構築	0件
取組3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	0件
分野7 防災・安全・安心	5件
取組1 防災機能の再構築	4件
取組2 大津波等への備え	0件
取組3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	1件
取組4 安全・安心な地域社会の構築	0件
その他	6件
総意見数(回答者数 32名)	35件

※件数は複数回答扱い

分類項目	件数
つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	0件
取組1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	0件
取組2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	0件
取組3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	0件
つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	1件
取組4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	1件
取組5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	0件
つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	1件
取組6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	0件
取組7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	1件
つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	3件
取組8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	2件
取組9 安心して学び続けることができる教育体制の整備	1件
つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	0件
取組10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	0件
取組11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	0件
つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	1件
取組12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	0件
取組13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	0件
取組14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成	1件
つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	1件
取組15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	0件
取組16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	1件
つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	0件
取組17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	0件
取組18 生活を支える社会資本の整備・維持・管理体制の充実	0件
総意見数(回答者数 6名)	7件

※件数は複数回答扱い

大分類の「県政に対する意見」については、水道事業の運営、医療体制の強化や充実、公園の整備など子育て環境の整備や教育の充実等を望む意見、仙台市以外の市町村の活性化を目指した政策を望む意見が多くみられた。

「震災の復旧・復興に関する意見」の小分類で一番件数が多かったのは、「被災者の生活環境の確保」、 「海岸、河川などの県土保全」に関する意見となっており、支援金に関する意見、災害公営住宅等の暮らしに関する意見が多く含まれていた。

「新・宮城の将来ビジョンに関する御意見」の小分類では、「多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成」に関する意見が最も多く、子供食堂や子どもの学力に関する意見が挙げられていた。

また、調査に関する意見では、今年度より新たに導入したインターネット回答についての好意的な意見がみられた。